

石クリ通信

2月号

相談できる専門家

院長 石川 悟

新年早々クリニックのパソコンがトラブルになり
(Windows10の自動バックアップのため)、あたふたしました。いつもお願いしているC社のSさんが、迅速に対応してくれて、事なきを得ました。
クリニックの運営はもちろん、社会生活をしていく上では、たびたび問題が起きます。建物に関しては設計のIさん、庭木や土木関係はSさん、税金の相談はO税理士事務所、保険に関してはKさんやTさんなど、いつも気軽に相談をしています。幸い今のところ訴訟など法律関連のトラブルはないので、弁護士さんのお世話にはなっていません。

最近インターネット検索で病気や治療のことを調べてくる
人が少なくありません。疾患についての確かな情報をつかんでいる人もいますが、薬の宣伝や自分の医療機関に誘導するような情報も多く、非常に偏った考えや的外れなことを言ってくる人も少なくありません。
当院は泌尿器科が専門なので泌尿器科の病気に限っては気軽ににご相談ください。他の科の疾患に関しても、どこを受診したら良いなどの情報はありますので、遠慮せずにご相談ください。

今どきの成人式

事務 上野 亜希

今年息子が成人式を迎えました。今は会場に保護者席が設けられています。私の時代は親が成人式に来るなんてことはなかったもので、全く行く気などなかったのですが、「今は親も行くんだって！」と友人に誘われ、数人のママ友で行ってみることにしました。まさかそんなに保護者が来ていることはないだろうと、タカをくくっていました。実際会場内に入ってみると、保護者の方々が溢れかえっていて、座ることも出来ず、終始立見で過ごしている衣装も様々で、下派手な衣装に身を包んでいる新成人が多く見られ、時代は変わったなあと思うつくづく実感した一日でした。

おみくじ

事務 田所 弓佳

毎年初詣に行くと思わずおみくじを引きます。今年も引いてみるとなんと大吉を引き当てました！大吉のおみくじは御神木に結ばない方がいいと聞いたことがあったので、そのまま結ばずに今も私のお財布の中に大切にしています。今年はこの大吉のおみくじをお守り代わりにずっと持つていようと思えます。今年もどうぞよろしくお願ひします。

中村哲医師の残したものと 事務長 石川 都

昨年末の中村哲医師の死の衝撃は、いまだ冷めやらぬままである。現代の政治・宗教の対立の激しさも頭では理解していたが、あれだけ長年アフガンのために人生を捧げ尽くした人でも、かような非業の死を遂げねばならなかったという不条理に、人間の根源的な闇を見せつけられた思いがする。どんなに科学が進歩し、地球規模の政策が押し進められようと、世界各地で人間同士の憎悪や争い、殺戮の減る気配がないことに暗澹たる気持ちになる。
ナゼ撃つカ 砂漠ヲ緑化シタ医師ヲ 八島渚男
昨年クリニックはジョシオンレノ「ハッピークリスマス」ばかり聴いていた。裏を流れる「戦いは終わるよ・君さえ望めば・」のフレーズから、中村氏の死が繰り返しの心をよぎった。昔好きだったサイモンとガーファンクルの「七時のニュース」という曲も、美しい「聖しこの夜の歌声の裏に、ベトナム戦争のニュースが淡々と流れていく。声高な反戦の主張より、こういう静かなメッセージの方が、心に沁みるものである。

中村氏は、自衛隊派遣を審議する国会に呼ばれた際も、これまで車に日の丸がついていれば狙撃される恐れはなかったが、今後はそうはいかないだろうと述べた。さらにこれまでの平和憲法によつて築かれた好意的な対日感情が、これを機に一挙に崩れ去る可能性を示唆し、現地では米国の後援軍隊とみなされる自衛隊の派遣は有害無益であると断言した。彼は長年の経験から、戦争は何も生まないということを誰よりも身をもって実感していたのだろう。銃より水を！との、彼の命をかけた提言は、政治家のどんな言葉よりも重い。その意味で彼の死は、状況によっては避けられ得た人災かもしれない。

と同時に、かつてタリバンがバミヤン遺跡の大仏を破壊した際に、美智子妃が詠んだ歌も忘れられない。知らずして、私も撃ちしや春たくる
バミヤンの野に み仏在(ま)さす
人の憎しみや不寛容の表れとして仏像が破壊されたのだとすれば、自分も知らないうちに一つの弾を撃つていたのではあるまいか。ともすれば他人を安易に批判しがちな現代において、この美智子妃の深い自省の念も常に持っていたい。

雪がない！

看護師 澤田 彰子

毎年年末年始の休みはスキーに出掛けていたのですが、今年には雪がなくてスキー場がオープンしていませんでした。一月中旬になって一部滑走可能になったので行ってみたら、スキー場までの道路にも雪が全くなく、スキー場も頂上付近しか雪はありませんでした。雪質もガリガリで最悪のコンディションでしたが、子どもは板を持って下りのリフトに乗るといふ初めての体験に喜んでいました。

ご褒美 看護助手 柴田 さち子

昨年の暮れに、一年間がんばったご褒美に、女子達(私・孫嫁・孫)の四人でランチに行きました。場所は福島県いわき市泉町にある、果物屋さんのフルーツパフェとパスターが頂けるフルーツピクシブス店です。席につき、どんなパフェが来るのかワクワクしながら待っていました。運ばれて来たパフェは、グラスから溢れんばかりの旬のフルーツがたっぷり乗っていました！すかさず皆で写真を撮り、「いいいただきます。おいしいー」と食べている間は最高に幸福でした。二〇二〇年も健康に気をつけて頑張ります。



二〇二〇年初日の出

看護師 太田 小百合

初日の出は一年一度の最初の夜明けで「めでたい」とされています。私は毎年初日の出の前に立ち、彼方から差し込む厳かな光を眺めながら、気分も新たに一年の誓いや願ひ事をするのが恒例行事になっていきます。今年も沢山お願ひしました。もちろん石クリに来院されている皆様の健康もお祈りしておきましたよ。(笑)
二〇二〇が私にとっても皆様にとつても良い一年でありますように。



初デイズニランド

通信・ウェブ担当 石川 香

主人の職場の共済で、デイズニランドリゾートオフィシャルホテルの格安宿泊に当選したので、祝☆娘のデイズニランドデビューとなりました。ひと月前から「ミニーちゃん」とブルートに会うの！(なぜそこはミッキーじゃないんだ?)と楽しみにしていて、子供の旅行時のお約束で、前日にはひどい咳で少し熱っぽかったのですが、夕食にご飯三膳食べ、早朝から「ミッキー」とミニーのお友達は何時に来るの？」とウキウキだったので、迷わず決行。驚くべきことに二時間のドライブも泣き騒がず到着し、パレードや自分と同じ名前の猫Marieちゃんのご対面と、楽しむことが出来ました。デビューはまだ早いかなと思っていました。娘の成長を感じられた日でした。「何が一番楽しかった？」と聞いたら、「ダンボ」。すごい似たような物が、かみね公園にあるよね。・・・と思いつきながら、私自身もデイズニランドの魔法にかかって楽しめた旅行でよかったです。